

様式第2号（第5条関係）

平成29年5月1日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 榎崎 忠彦



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- | | |
|---------|---|
| 1 期 日 | 平成29年4月18日 ~ 平成29年4月19日まで |
| 2 旅 行 先 | 京都府舞鶴市 |
| 3 目 的 | 「マニフェスト大賞」で2016年グランプリを受賞した舞鶴市「地域医療」や「観光政策」の取り組み |
| 4 関係書類 | 別紙のとおり |



経費合計 72,220円 (研修費)

日 時	平成 27 年 4 月 18 日 13:00 ~ 13:30
視 察 先	舞鶴市
調査事項	基調講演 「地域から日本を変える」
対 応 者	地川正泰 (早稲田大学名誉教授)
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	2017年、第12回 マニフェスト大賞は当地 舞鶴市長 多田美良三代が受賞された経緯 (地域医療・観光政策)の紹介があり、これ により注目を集めることの出来た。 地方自治体の首長、議員や地域主権を支 える市民の活動実績を募集、表彰し、発表 することで地方政治の向上につなげていく ことを期待するものとしてマニフェスト大賞 設立の趣旨説明。 議会の本来の使命は、市民の皆様の要望 等、適切に受け止め行政に反映していく事 あり、①開かれた議会 ②議会機能の充 実 ③効果的、効率的な運営を目指して いくことを期待する

日 時	平成 29 年 4 月 18 日 13:30 ~ 14:30
視 察 先	舞鶴市
調査事項	地方創成と地域医療改革の充実
対 応 者	舞鶴市長 マル美良三
1. 視察目的	〇 地域医療問題 - 取り組み
2. 視察内容	現状認識
① 背景	① 総合病院（公的病院）のあり方
② 特徴	② 近隣自治体において中核病院の
3. 主な質疑	整理・整備に伴う患者数の激減
4. 考 察	取り組み
（感想、政策提言、課題など）	① 「地域医療あり方検討委員会」設立 命題・病院の存続 対策 Ⅰ. 広域連携の充実・強化 Ⅱ. 選択と集中 Ⅲ. 分担と連携 Ⅳ. 病院循環バスの導入 〇 行政改革 - 地方創成の道行き 現状を踏まえ、明確な政策目標を設定 地域全体で、情報共有を図り施策を推進 Ⅰ. 意識（移転行政） Ⅱ. 職員の能力向上 Ⅲ. スピード感のあるサービス 自然・歴史・文化・市民 つながりを大事にし、心豊かに暮らせるまちづくり

日 時	平成 29 年 4 月 18 日 14:40 ~ 15:00 平成 29 年 4 月 19 日 8:30 ~ 11:40
視 察 先	舞鶴市
調査事項	「海・港」を核とした観光産業の振興政策 「舞鶴赤レンカパーク」「舞鶴引揚記念館」
対 応 者	舞鶴市産業振興部 / 舞鶴引揚記念館 課長 櫻井晃人 / 館長
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	「舞鶴赤レンカパーク」 旧海軍舞鶴鎮守府が置かれたのが明治 34年。明治から大正にかけて、兵器庫や造船 所、砲台、トンネル、橋など赤レンガ建造物が 造られ、12棟の倉庫群のうち8棟は国の 重要文化財に指定。平成24年「舞鶴赤れ んかパーク」としてオープン。 現在4棟を博物館、カフェ、創作工房、イベ ントホール等に活用されている。 「舞鶴引揚記念館」 舞鶴港は、政府が指定した引揚港の一つ として、昭和20年第一船の入港から、昭和 33年の最終船までその役割を果たした。 昭和45年、引揚記念公園が整備され 記念館が建設。 平成29年、収蔵資料の中から、570点か らく世界の人が共有すべき資料として、 ユネスコの世界記憶遺産に登録。 人類に共通する人間的かつ普遍的な 主題を発信していくという思いを感じました。

日 時	平成 29 年 4 月 18 日 15:00 ~ 15:30
視 察 先	舞鶴市
調査事項	ミッショレポートマップと大津市議会の取り組み
対 応 者	大津市議会局 次長 清水克士
1. 視察目的	「未来を語る議会」とは
2. 視察内容	① 議会の主要機能
① 背景	「監視機能」と「政策立案機能」
② 特徴	② 議会からの政策立案手法
3. 主な質疑	「市長への提言・決議」「政策条例の制定」
4. 考 察	③ 「未来を語る議会」の必要条件
(感想、政策提言、課題など)	「チーム議会」の必要条件 合意形成力、協力力
	「ミッショレポートマップ」の策定
	① 目的 1 議会基本条例の「具現化」
	2 議会活動に対する市民への「説明責任」
	1 市議会の「見える化」
	② 進捗管理
	1 議会運営委員会において、検証・評価
	2 年度末ごとに自己評価、工程の確認
	11. 最終年度、外部評価の導入、検証
	議員 一期 4 年間で、各年度毎に政策立案、
	議会改革の分野でテーマを設定、活動し
	ていく。議会としてのビジョンを共有化、
	議会の向上を図っていく。